

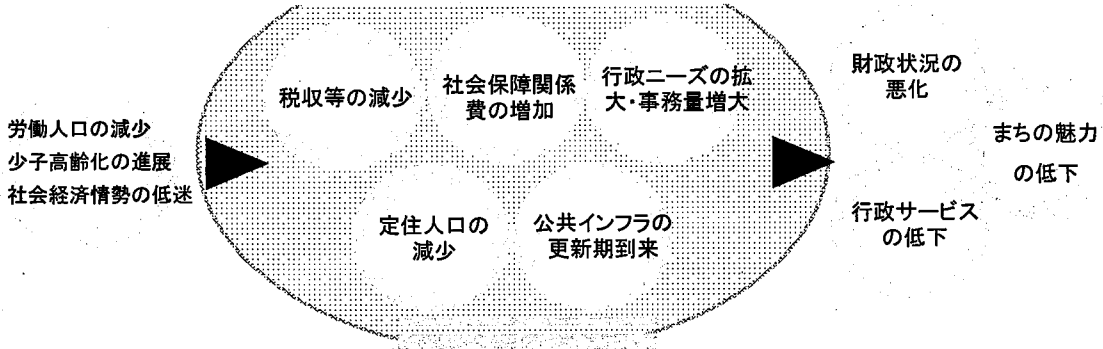
# 検討の概要及びスケジュールについて

- 1 行政改革指針策定について
- 2 小田原市の行政改革の経緯
- 3 小田原市総合計画との関係
- 4 行政改革指針策定体制
- 5 小田原市行政改革推進委員会のスケジュール
- 6 課題と検討項目について (案)

1

## 1 行政改革指針策定について

### 本市の行財政運営を取り巻く現状と課題



将来にわたって持続可能な揺るぎない行財政運営の基盤を作る必要がある。

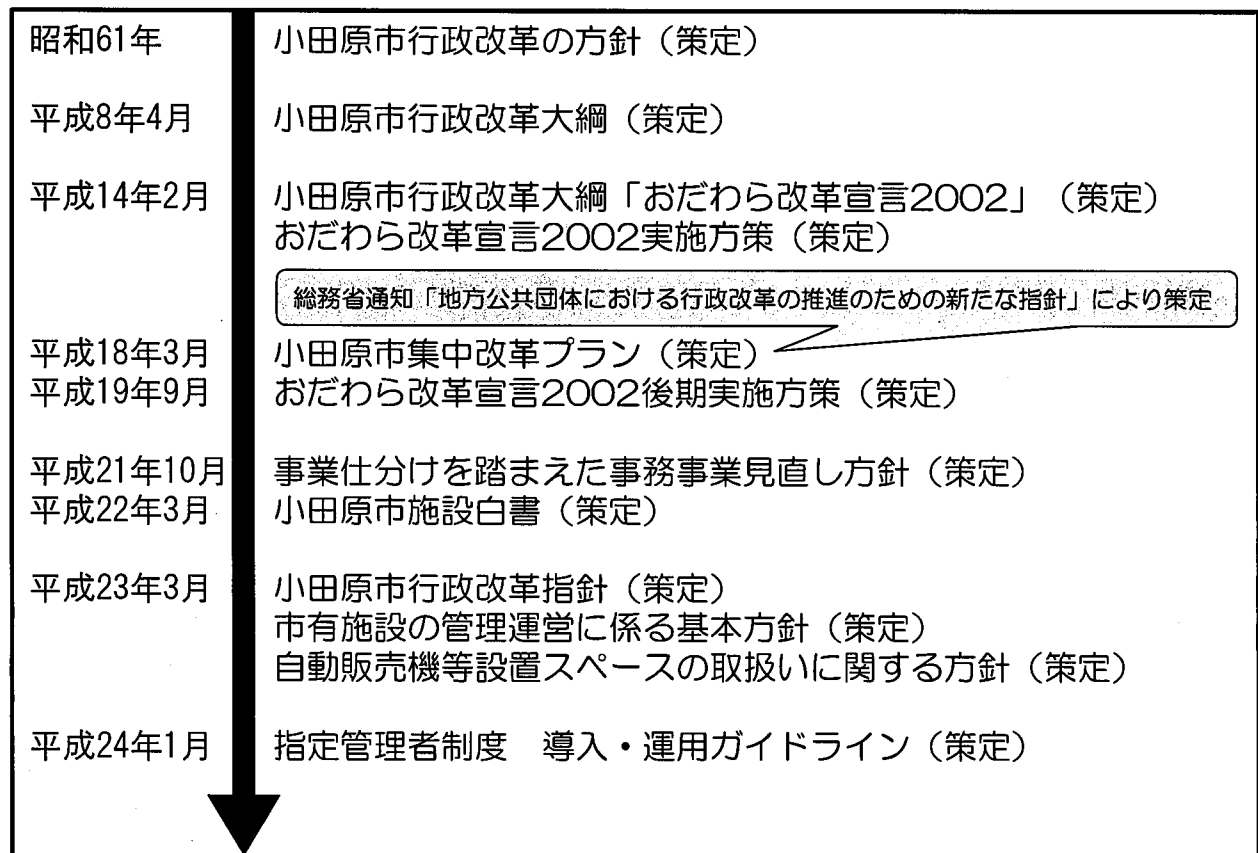
持続可能な行財政運営の確立 “量の改革”  
(経費縮減・業務のスリム化・人件費抑制・施策の優先順位や選択)

市民ニーズに即応した行政サービスの確立 “質の改革”  
(システムや視点を変える)



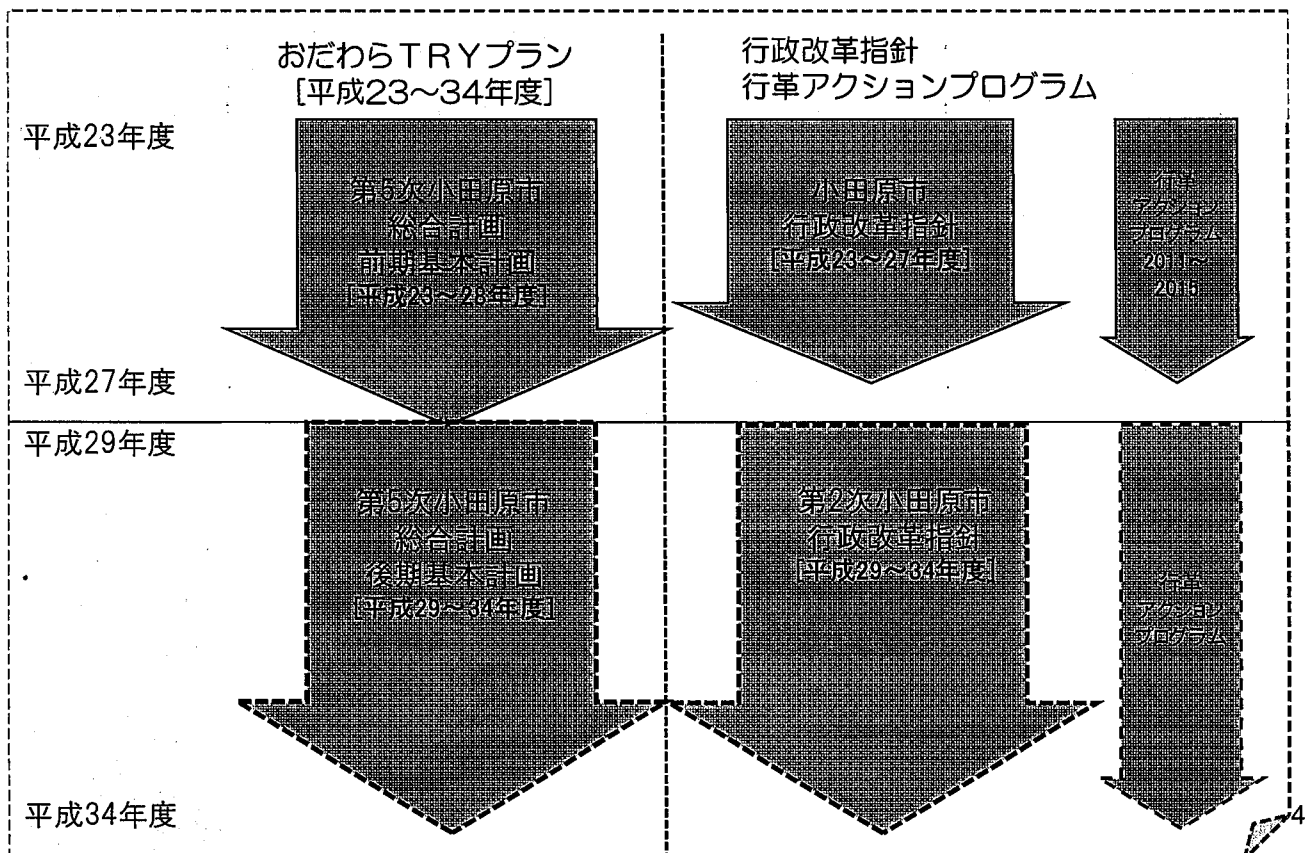
2

## 2 小田原市の行政改革の経緯



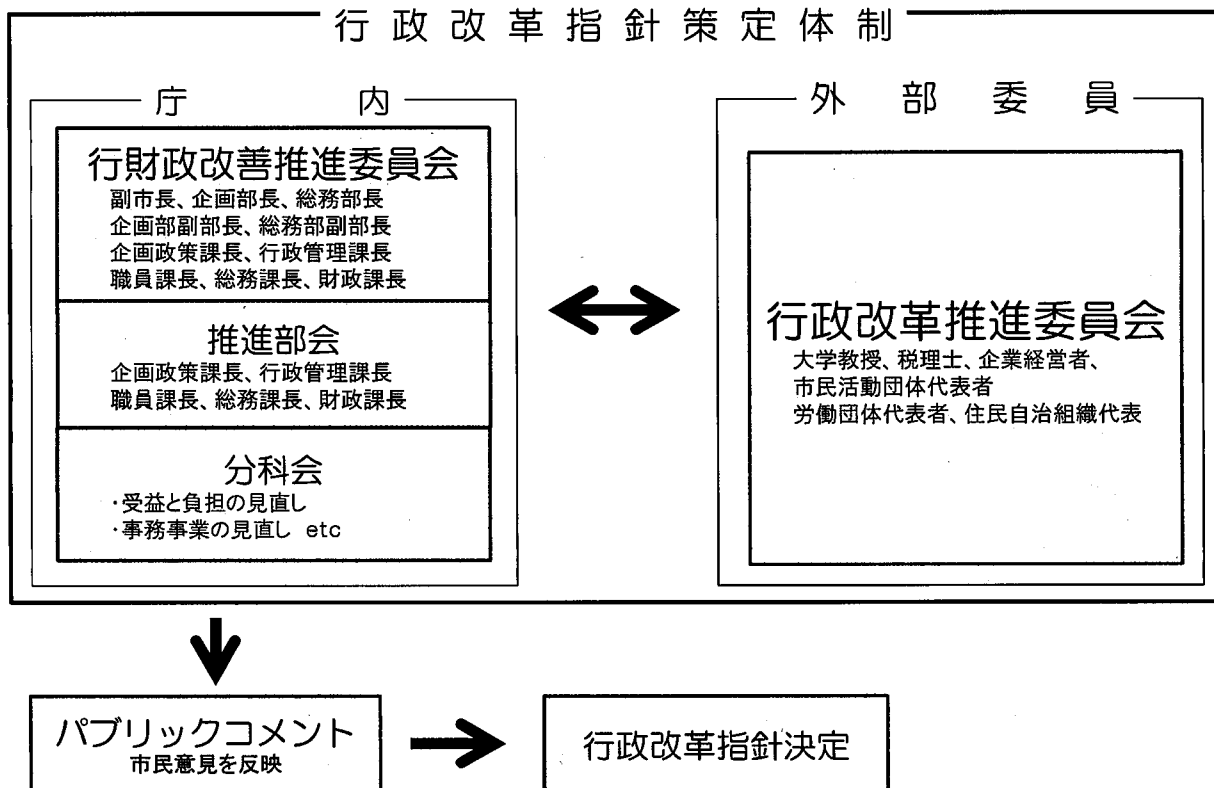
3

## 3 小田原市総合計画との関係



4

## 4 行政改革指針策定体制



5

## 5 小田原市行政改革推進委員会のスケジュール

日 程		工 程
第1回	平成28年1月7日	・概要説明
第2回	平成28年2月10日	・小田原市の将来ビジョンについて(行財政運営の将来像) ・課題・検討項目の整理
第3回	平成28年3月	・課題・検討項目の整理 ・新たな計画の推進体制と方向性について
第4回	平成28年4月	行政改革に関する指針の考え方と取り組みの方向性について(まとめ)
第5回	平成28年5月	行財政改革に向けた抜本的な取り組みについて
第6回	平成28年6月	行財政改革に向けた抜本的な取り組みについて
第7回	平成28年7月	行財政改革に向けた抜本的な取り組みについて 答申案の概要検討
第8回	平成28年8月	答申案検討・取りまとめ
第9回	平成28年9月	答申

平成28年12月 パブリックコメント  
平成29年 3月 行政改革指針決定

6

## 6 課題と検討項目について(案)

### 持続可能な行財政運営の確立 “量の改革”

- ◆基本的な考え方 収入確保
- ◆アウトラインとなりそうな項目 市税等の徴収率の向上、受益と負担の見直し、市有財産の活用、新たな財源の確保など
- ◆基本的な考え方 歳出の抑制
- ◆アウトラインとなりそうな項目 人件費等の抑制、扶助費の抑制など
- ◆基本的な考え方 事務事業の見直し(効率的・効果的な事業の推進)
- ◆アウトラインとなりそうな項目 事務事業の休廃止、類似・重複事業の整理・統合、補助金の見直しなど

### 市民ニーズに即応した行政サービスの確立 “質の改革”

- ◆基本的な考え方 市民が利用しやすい市役所
- ◆アウトラインとなりそうな項目 窓口サービス等の向上、ICTの活用促進など
- ◆基本的な考え方 組織体制の整備
- ◆アウトラインとなりそうな項目 組織の見直し、職員育成など
- ◆基本的な考え方 市民ニーズの反映
- ◆アウトラインとなりそうな項目 市民意見の聴取など
- ◆基本的な考え方 行政情報の市民との共有
- ◆アウトラインとなりそうな項目 情報提供の促進など
- ◆基本的な考え方 市民活動の支援
- ◆アウトラインとなりそうな項目 支援体制の整備など